

# チタンなど難削材の精密加工 医療機器など200種類 昌和精機

昌和精機（相模原市、釜田重男社長、042・683・6966）は、医療機器や分析器などの精密機器の開発から設計、部品加工、組み立てまでを一貫生産するが、なかでもチタンの精密加工で注目されている。

チタンは、軽量で錆びにくく、薬品による影響変化もなく、人体にもなじみがいいなどの利点が多い反面、加工が難しく、刃物がすぐ傷んだり、加工中に発火する危険性もある「難削材」。同社はもともと内視鏡な

# オリジナル商品・部 縫製品、成型

トゥー・スパークス（小金井市、坂田彰社長、042・380・7780）は、企業のオリジナル商品をOEM生産（他社ブランドの製品製造）する。タオルの名入れのように既存の商品に手を加えるの



釜田秀重専務（左）と釜田重男社長（右）

ど医療機器の加工製造を得意としたが、約10年前にチタン加工に注力し、試行錯誤の末、使用するオイル、刃物、加工条件などの独自のコア技術を蓄積した。今では純チタン

製の補助人工心臓の部品や直径0.6mmの注射針など、月に製造する製品は約200種類。少量多品種にこだわり、チタンを主とした医療機器の精密加工が約7割を占める。NC旋盤、マシニングセンターなど導入し、24時間稼働中。「チタンのことなら何でも相談ください」と釜田社長は語る。